



全港湾沖縄地本執行部と
沖縄地本青年部で参加

沖縄県の玉城デニー知事が辺野古の軟弱地盤の改良工事に
向けた埋め立て変更申請の不承認を決断したことを受け、2021年12月3日(金) 辺野古
に新基地を造らせないオール沖縄会議は知事の「設計変更不承認」を支持、支援する輪を県内外に多く広げる
為の県民集会を開き、そこに全港湾沖縄地本執行部と沖縄地本青年部で参加しました。夜からの参加が初め
てだったので少し雰囲気が違う感じが思いました。県民広場には約500名の人々が集まり、シュプレヒコール
を上げ一致団結を確認しました。集会後は「知事の不承認支持」「辺野古新基地建設NO!」と書かれた青い
プラカードなどを掲げ国際通りをデモ行進しました。自分は主に写真撮影をしながら参加したのですが、行進
団一人一人の真剣な表情から「新基地を絶対に造らせない」という熱い思いが伝わりました。しかし一方では行
進団の列が乱れ、前の人との間隔が広くなり過ぎる箇所もありデモ行進をするにしても課題があると感じ、こ
れを5・15 平和行進などでもしっかり考え活かしたいと思いました。同日、東京の首相官邸前でも基地建設に
反対する市民らが集会を開いたと知り、連帯の厚
さを実感しました。新型コロナウイルス感染症の
影響で全港湾沖縄地本青年部の活動も自粛に追
いやられていましたが、久しぶりの平和運動に参
加出来たことで来年2年ぶりとなる5・15 沖縄
平和行進や全国の平和運動に勢いがつきました。

沖縄地方青年女性部 部長 新里良平



県民広場には約500名の人々が集まり
シュプレヒコールを上げ一致団結を確認

12/3
2021

辺野古新基地建設 即時断念を求め 県民集会

全ての軍用機飛ばす
普天間基地反対





全港湾沖縄地本は21名で参加

知事は防衛局が行った「設計変更届」を「不承認にした」と力強く報告



12/4
2021

多くの県民が「県民大行動」に結集

2021年12月4日(土)、辺野古新基地

建設強行に対してオール沖縄を中心とする多くの県民が「県民大行動」

に結集した。全港湾沖縄地本は、街宣車を含む自車両3台を出動させて21名で参加しました。

県民大行動には、総勢800名余りが集まった。ここには翁長前知事から使命を託された「玉城デニー知事」が参加した。知事は防衛局が行った「設計変更届」を「不承認にした」と力強く報告をした。知事の報告には参加者全体から大きな歓声と拍手が上がった。

現場には、来る1月に行われる名護市市長選挙候補者、南城市市長選挙候補者、県選出の国会議員、県政与党など、政治を代表する各員も駆けつけた。

沖縄県は戦後76年が経つが未だに米軍施設が31箇所、沖縄本島で見ると全体の15%以上を占めている。まさに占領地そのものです。政府による「政治差別」、「県民軽視」は、令和の時代になっても全く変わらない。怒りを覚えるしかない。世界一危険と言われる「米軍普天間飛行場」だが、その返還を早急に実現するために辺野古への新基地建設を進めるのは全く理不尽であり、基地の早期返還・無条件返還とはほど遠い。政府の一方的な解釈、都合のいい解釈や、普天間飛行場の返還を「誤った解釈」で返還を求めよとする人たち。

沖縄県民の大多数が辺野古新基地建設強行に反対しています。昨今、コロナウイルスの影響により平和運動センターを中心とする各種行動が延期となっていました。久々の反戦・反基地運動により、これまで以上の結集と、力強い行動に繋がっていくと確信しています。全港湾沖縄地本青年部は、飛躍・躍進で行動力を示していきます。

沖縄地方本部 全検分会 新川秀幸



翁長前知事から使命を託された「玉城デニー知事」が参加